

“ボランティアを話し合う会”

NSN 代表 山本雄一

ボランティア活動は、本来個人的なものだから何をやりたいか自分自身で選択決定すべきだという原則論もありますが、この地域で何が必要とされているのか、地域貢献のメニューの中身はなかなか見えにくい。特にシニア男性向けのものは視界不良で、個人で新たな活動先を選定するのはそう易しくはないのが現実です。シニアネットワークのような組織がそうした選択決定に寄与する“場”を提供することが出来ればそれは会員のためにも組織のためにも有益なことであり、社会的にも意義のあることだと思います。そこで今回ネットワークの新しい事業として上記の会を立ち上げることにしました。

その会のイメージは先ず定期的な会合で、その気になった人がいつでも出席できる常設の場にあること、また知識や情報を得て個人的に役立てるだけでなく、協力して仕事をやる仲間づくりの場とすることです。期待される機能としては①情報交換や交流(サロンの)②ボランティアやNPO・地域の学習・見学③仕事のコーディネート(ハローワーク的)④我々に適したボランティアメニューの開発などですが最初からあまり構えず、出来るところから一歩ずつやっていけばよいと思います。最初の会合を10月30日に計画しています。関心のある方のご出席を期待しています。

ボランティアを話し合う会 (第1回)

とき 10月30日(月) 13時30分

ところ 西武線練馬高野台駅北口 左 50m

谷原出張所会議室 (交番となり)

秋の日帰りバス旅行まとまる!

11月28日(火)

昇仙峡・ワイン工場見学

シニアネットワーク主催のバス旅行は、平成18年度の会員対象事業として新規に企画されました。今までは、各会単独かオープン参加事業として他の会の企画に参加するのが主流でした。今回、初めての事業として企画するに当たっては、従来の経験や各会事業との調整を念頭に置いて、企画委員会で十分に検討しました。実施は11月28日(火)、昇仙峡で日本一の溪谷美と紅葉のハーモニーを堪能し、マンズワイン勝沼ワイナリーでワインと昼食を楽しみます。(詳細はちらしをご覧ください。多くの皆様のご参加を期待しています。)

‘06 サマーフェスティバル大盛会!

サマーフェスティバルは、第4回目を迎え、8月26日(土)練馬区役所本庁舎地下多目的会議室で143名の会員が参加して開催。

山本雄一代表の挨拶に続く愛唱歌合唱は指揮者の渡邊登志子さんに大勢が登壇して合唱。第一部のパフォーマンス、玉すだれ(ELF 吉川幹夫さん)、ハーモニカ演奏(いちごの会 ハーモニカサークル)、マジック(ELF 宇田川軍次さん、燦々会岩立豊勝さん)はいづれも静かな雰囲気の中かで会員の熱演でした。第二部の会員の交流、各テーブルごとの交流、中央テーブルでの全体交流とも賑やかな交歓風景があり、テーブル対抗クイズ合戦で同点組のジャンケンが過熱気味でした。最後の福引は、一等賞が当たった八展会の山本倶楽さんが大歓声に包まれてスピーチされました。閉会は、燦々会の岩立さんの挨拶に続き、すばるの鷲田芳郎さんが昨年同様見事な手さばきで拍子木を使い、三本締めで収めました。

少人数の良さを生かして

気楽に活動する・・・燦々会

燦々会はネットワーク13団体中、最もこじんまりとした会である。毎年実施されているセミナーの参加者は近年50～60人に達するが、10年前のそれは半分にも満たなかった。ある程度人数が集まれば文殊の知恵も湧き、活気も出て会としての船出も容易であろうが、我々は会の結成すら覚束無い状態であった。

そうした難産の燦々会であるが、発足当時から現在まで続いているひとつの行事がある。それがボランティアセンター発行の情報誌「ぼけっと」の市場調査である。図書館、体育館、女性センター、区民センターなど練馬区内の主要公共場所には学習・催事・告知など各種PR紙が配布展示されているが、その中の一つ「ぼけっと」が適所に適数配置されているか、定期的に巡回して残数調査を行ない、不足過不足がないよう調整を行なっている。情報チラシの種類は数十種類に及ぶが、場所毎の残数調査をして発行部数に反映させているのは、唯一「ぼけっと」のみであろう。過去10年間に亘り維持できていることは燦々会の誇りであり、その陰で燦々会の人手不足を支えてご協力いただいた他の会の方々には感謝してこころからお礼申し上げたい。

春秋の美術鑑賞会も恒例であるが先般は、スペイン王室コレクション「プラド美術館展」を観賞し、燦々会以外の方も含めて15名ほどでくつろいだひと時を過ごした。当日は65歳以上の高齢者は無料サービスデーであったが、喜ぶべきか惜しむべきか参加者全員が漏れなく基準に合格した該当者であった。

数百年間、多くの人々の評価鑑賞に耐えて来た芸術作品には、さすがに見る人々の魂を揺さぶる風格を感じた。現代の写真よりも写実的とさえ思われる静物画には時空を超越した静止の世界が



あり、繊細に描かれた質感には温もりまで肌に伝わって来るようだ。動植物画には生命の息遣いが感じられ、果実からはみずみずしい美味しさが味わえるほどの作品群に満足した。また、中世ヨーロッパ女性の豊満な肉体美にこっそりと目を奪われたのは筆者ひとりであつたろうか。

普段は絵画に関心が無く、ひとりでは美術館などへ足を運ばない人でも、仲間に誘われれば、一緒なら「じゃあ、行ってみるか」という気分にもなる。すぐれた美術作品に触れてひとときでも日常生活の雑念から解放され、気分転換が図られればそれで十分である。

「プラド美術館展」鑑賞後出口で時間を決めて集合し、ランチタイムのラッシュを避けて東京駅まで移動。新しいビルの一角にある、減農薬自然野菜を中心とした、新鮮さが自慢のバイキングで昼食をとった。これは高血圧、血糖値など生活習慣病や成人病が心配な人でも、自分に合わせた食事がとれるので好都合であった。

その他の活動として野球観戦や、最近足が遠のいているハイキングなどにも行くが、あまり力まず少人数の良さを生かして気楽に、みんなの気持ちとスケジュールがあつた時に合意で行動する。当面NSNオープン行事や他の会の催しにも積極的に参加して行きたい。 (中村元功 記)

第14回ねりまシニアセミナーへ 協力をお願い

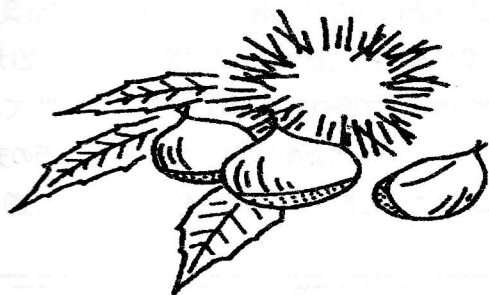
地域でもNSN会員相互の交流を

いちごの会 佐藤 紀男

NSNの会報が発行され、他の会との相互交流が活発化したことは喜ばしいことです。先日開催のサマーフェスティバルもより身近なものに感じられました。

振り返ってみるとNSNの会への加入を勧誘してくださったのは、地域のスポーツクラブで一緒だった「すばる」の会の方でした。また、3年前のサマーフェスティバルで私の隣の席に座った方は近所にお住まいの第1期シニアクラブの方でした。もしかするとバス停や駅、あるいは買い物先のスーパーなどで未知の会員の方々と顔を合わせているかも知れないのです。

そこで今後のサマーフェスティバルでは、事務局の方は面倒な事だと思いますが、是非地域ごとに集まれるような席の配列にしてくださいと思います。地域ごとには具体的な活動はなくとも、このような機会に一度顔を合わせていけば、街中でお会いしても会釈ぐらいは出来るでしょう。NSNの会員相互の親交は、地域の中でも深めていきたいものだと思っています。



今年度の主要事業計画のひとつ、第14回ねりまシニアセミナーは平成19年3月3日（土）と10日（土）を開催予定日とし、「ひとみ会」が幹事団体として奇数団体の代表および事務局と共に準備を進めることになりました。

ひとみ会では、9月16日の例会で方針案を議論し、実行委員会に臨むことにしていますが、今回は、広報と講師の選任に、NSNのパワーを大いに活用させていただきたいと考えています。NSNの会員は430名に達しましたが、その関係者も含めると、その底力は相当なものです。

団塊の世代が大量に地域デビューする初めの年に当たるセミナーを成功させるためには、これまで以上の広報活動と、内容についても長年の経験を生かし独自色を強める必要があります。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。（ひとみ会 角地徳久）

ねりまシニアネットワーク

定例連絡会 協議メモ

（毎月第4土曜日開催、構成13団体代表、「ネットワークの運営について」協議する）

・平成18年7月22日（土）PM 1:30～4:00

協議事項

- ①サマーフェスティバルの運営
- ②第14回ねりまシニアセミナー開催準備
- ③NSN会報創刊1周年、会報の浸透度等

・平成18年8月19日（土）PM 1:30～4:00

協議事項

- ①サマーフェスティバルの運営
- ②会報第6号の編集企画

オープン参加行事のご案内

●シニア男性料理塾

(平成18年度後期)

(二日制) 10月22日(日)

11月5日(日)

13:00~16:30

(場所) 石神井公園区民交流センター

(参加費) 2000円+材料費

(問合せ) ねりまシニアクラブ

山本雄一 TEL/Fax 3995-2217

※ シニア男性初心者向け「講義と実技」

同世代でわいわい作り食べる、楽しい教室

●コミュニケーション・マジック

(ELFの初心者向けマジック・サークル)

10月26日(木) 13:30~16:00

11月15日 又は 29日(場所・時間未定)

(場所) 練馬ボランティアセンター

区役所東庁舎4階

(講師) 宇田川軍次

(会費) 500円+材料費(回) 見学自由・歓迎

(申込) ELF内藤 TEL&FAX 6760-2815

●Liebeリーベの会

(愛唱歌を楽しむ会)

10月4日(水)、18日(水)

11月1日(水)、15日(水)

いずれも練馬公民館

(時間) 10:00~11:30

(申込) メロウメイツばる

佐藤 3997-1707

(月会費) 2000円

●おあそびパソコン

10月15日(日) 11月19日(日)

12月17日(日) 1月21日(日)

(場所) 石神井公園区民交流センター

2階 会議室

(時間) 13:00~

※ ノートパソコン・接続機器持参

(申込) 五友会 宮下 3920-2735

(参加費) 500円

●八展会囲碁クラブ例会

10月9日(月・体育の日)

11月8日(金・文化の日)

(場所) 光が丘地区区民館大広間

3979-6911

(時間) 12:30~17:00

3日前くらいまでに参加・不参加の
ご連絡をお願いします。

(申込) 八展会 関野俊夫 5998-9888

●陸会オープンゴルフの会

11月22日(水)

(コース) ノーザンカントリークラブ

錦が原 GC 048-624-5651

(スタート) さくらアウトコース AM9:43 4組

(フロント前集合) 9:00 (クラブバス 8:30)

(申込) 陸会 横山 3904-3129 11月15日まで

●いちごの会ハーモニカサークル

(日時) 毎月第3週の水曜日 18:30より

(場所) 練馬と大泉の会場を隔月利用。

NSN会員ならどなたも大歓迎です。

問合せ: 詳しくは庄村まで(5936-6058)

編集後記

この1年、NSN制作にあたり編集委員として参加したことは、ねりまシニアネットワークの今後を考える上で大いに参考になりました。漸くこの会報/NSNもネットワークの会員に認知されてきましたが、まだまだこれからだという思いもあります。ネットワークの事業も徐々に拡大し会員相互の交流に役立っています。NSNは、その情報伝達と言う意味で重要な役割を果たしつつあります。オープン参加行事も各会の事業の枠を超え幅広く会員相互の親睦を深める意味で大切だと思います。また、投稿も会の活動に拘らず会員、ご自身の感じたことをストレートに紹介していただければ幸いです。皆様の忌憚のないご意見を頂戴して、ネットワークの情報交換の場として今後とも紙面の充実に微力ながら貢献できればと念じています。(笠)

<問合せ・連絡先 03-5936-6058> 編集責任者/庄村 勝男 (いちごの会)

編集委員/松澤 昭夫 (ねりまシニアクラブ) 中村 元功 (燦々会) 西浦 澄恵 (ELF) 笠島 賢一郎 (トリトンねりま)